

2021年コレクション展 I (小企画)

え がわ
穎川コレクション
ばい じょ てき
梅舒適コレクション 受贈記念展
Commemoration of Donations from
the Egawa Collection and the Bai Joteki Collection

春季展示：4月24日(土)～5月30日(日)
夏季展示：6月1日(火)～7月4日(日)



長次郎《赤楽茶碗 銘無一物》桃山時代(16世紀)
重要文化財 当館蔵(穎川コレクション) 通期展示

本展のみどころ

このたび、令和元年(2019)に兵庫県が受贈した二つのコレクションをお披露目する記念展を開催します。本展は、^{え がわ}穎川コレクション・^{ばい じょ てき}梅舒適コレクションの中から優品や資料的価値の高い作品を選び、はじめて広く公開するものです。会期中、大幅な展示替えも行いますので、ぜひお見逃しなく。

展覧会構成

え がわ 穎川コレクション

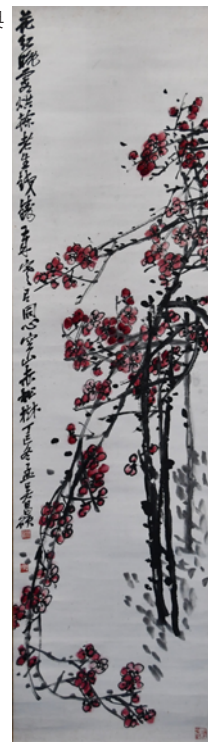
え がわ
穎川コレクションは、大阪の実業家・^{え がわ とくすけ}穎川徳助(1899～1976)の蒐集による日本美術を中心としたコレクションで、その過半は昭和48年(1973)に開館した穎川美術館(西宮市上甲東園)に受け継がれました。平成31年(2019)3月末に運営母体の財団が解散、重要文化財4件、重要美術品4件を含む約250件の美術品等が、当館の所蔵に帰しました。コレクションには、《阿弥陀曼荼羅図》(平安～鎌倉時代 12世紀)、《三保松原図》(伝能阿弥筆 室町時代 15世紀)、《山王靈験記》(室町時代 15世紀)、《赤楽茶碗 銘無一物》(長次郎作 桃山時代 16世紀)(以上、重要文化財)をはじめ、茶道具、南画、近代絵画等の名品が多く含まれます。



森狙仙《雨中桜五匹猿図》江戸時代(18～19世紀)
当館蔵(穎川コレクション) 5月30日まで展示

ばい じょ てき 梅舒適コレクション

ばい じょ てき
梅舒適コレクションは、わが国を代表する篆刻家である梅舒適(1916～2008)が、約60年にわたる歳月をかけて自ら蒐集した文物で、中国近世・近代書画、文房具、典籍ならびに梅舒適自身の書画篆刻作品等をご遺族よりご寄贈いただきました。これらのコレクションのうち今回は、質量ともに日本有数を誇る^{ごしょうせき}呉昌碩(1844～1927)の作品を中心に展示します。詩・書・画・篆刻に精通し、近代中国でもっとも優れた芸術家とされる^{そんすう}呉昌碩は、在世中から日中の書画家の尊崇を集め、今なお熱烈な愛好者がいます。



呉昌碩《紅梅図》中華民国6年(1917)
当館蔵(梅舒適コレクション) 6月1日から展示

え がわ とく すけ
額川徳助

(1899～1976)

四代額川徳助は、幸福相互銀行社長・会長。額川美術館創設者。戦後自ら蒐集した古美術品の永久保存と公開活用を図



り、ひいては地域の文化向上を願って、西宮市上甲東園の土地・建物、基金を寄付し、昭和48年(1973)11月に財団法人額川美術館を開館した。

ばいじょ てき いな だふみ かず
梅舒適(本名：稲田文一) (1916～2008)

昭和から平成にかけて活躍した篆刻家。社団法人日本書芸院や社団法人日展において役員を務めるなど指導



的役割を果たし、書道の普及発展に貢献した。中国の古代金石文字や清代印人の研究に努め、伝統から脱却した造形味豊かな現代の篆刻を作りあげた。また、書画作品にも定評があり、中国書の鑑定に詳しい。

ごしょうせき
吳昌碩

(1844～1927)

清末・中国近代画家、書家、篆刻家。清代最後の文人といわれ、詩・書・画・篆刻ともに精通し、「四絶」と称賛される。



浙江省安吉生。名は俊卿、昌碩は字、別字に蒼石、号に苦鉄・大聾。後半生は上海に移り住み、職業文人として旺盛な創作を展開した。終生古代文字である石鼓文の臨書に励み、その風韻を書・画・印に結実させ、一世を風靡した。

関連イベント

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、制限を設けています。状況によっては変更の可能性もありますのでご了承ください。

記念講演会「無一物、三保の松原図に見る日本中世の美」

講師：千宗屋氏(茶道武者小路千家 家元後嗣)

日時：5月23日(日)午後2時から(約90分)

開場は午後1時30分から

場所：ミュージアムホール(定員100名)

参加無料(事前申込制*、要観覧券)

「芸術の館友の会」会員優先席あり

KEN-Vi文化セミナー関連事業

*申し込み方法

往復はがきの往信面に、①郵便番号・住所 ②氏名(ふりがな)・年齢 ③電話番号(連絡先) ④メールアドレス、返信面に宛名を記入のうえご応募ください。

葉書1枚につき1名お申し込み可能です。

締切：4月30日(金)消印有効

応募多数の場合は抽選になります。

申込先：〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1-1-1

兵庫立美術館内

「額川・梅コレクション展記念講演会係」宛

学芸員による解説会

日時：5月1日(土)、6月12日(土)

いずれも午後4時から(約45分)

場所：レクチャールーム(定員40名)

参加無料

開催情報

2021年コレクション展Ⅰ

小企画「^{えがわ} 瀬川コレクション・^{ばいじょてき} 梅舒適コレクション受贈記念展」

会期 2021年4月24日(土) - 7月4日(日)
春季展示: 4月24日(土) - 5月30日(日)
夏季展示: 6月1日(火) - 7月4日(日)

開館時間 午前10時～午後6時(特別展開催中(4月9日(金)-6月19日(土)、7月3日(土))の金・土曜日は午後8時まで)
※入場は閉館の30分前まで

休館日 月曜日(ただし、5月3日(月・祝)は開館、5月6日(木)は休館)

会場 兵庫県立美術館 2階 常設展示室6

観覧料

区分	当日	団体 (20名以上)	特別展との セット料金
一般	500円	400円	300円
大学生	400円	300円	200円
高校生以下	無料	無料	無料

※2021年コレクション展Ⅰ全室をご覧ください。
※一般以外の料金には証明できるもののご提示が必要です。
※毎月第2日曜日は公益財団法人伊藤文化財団の協賛により無料です。
※団体鑑賞をご希望の場合は事前にご連絡ください。

[その他割引適用料金]

区分	当日	団体 (20名以上)	特別展との セット料金
70歳以上	250円	200円	150円
障がいのある方	一般	100円	50円
	大学生	100円	50円

※障がいのある方1名につき、介護の方1名は無料です。

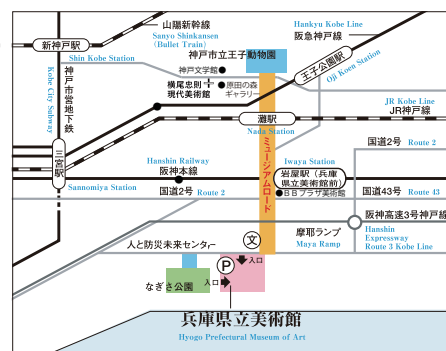
主催 兵庫県立美術館

協賛 公益財団法人伊藤文化財団
サブリタワ-神戸(株式会社ハーフ・センチュリー・モア)

技術協力(小企画) **KYOCERA**(京セラ株式会社)(LED照明寄贈)

常設展示室6では、新たに天井照明および壁面展示ケース内の上部・下部照明として京セラ(株)のLED照明「CERAPHIC®」を設置しました。光の質にこだわり、作品の本来の色を鮮やかに美しく再現することができる自社独自技術によるLED照明で、瀬川・梅舒適コレクションをご覧ください。

担当学芸員 小企画: 柏木知子・飯尾由貴子



【交通案内】

- ・阪神岩屋駅(兵庫県立美術館前)から南に徒歩約8分
- ・JR神戸線灘駅南口から南に徒歩10分
- ・阪急王子公園駅西口から南西に徒歩約20分
- ・JR三ノ宮駅南から神戸市バス(29、101系統)
阪神バスにて約15分
HAT神戸方面行き「県立美術館前」下車すぐ
- ・地下駐車場(乗用車80台収容・有料)

同時開催

2021年コレクション展Ⅰ

特集「同級生・同窓生」

会期 2021年2月13日(土) - 7月4日(日)
前期: 2月13日(土) - 4月18日(日)
後期: 4月24日(土) - 7月4日(日) ※4月19日(月)-4月23日(金)は展示替えのため常設展示室を閉室

お問い合わせ

兵庫県立美術館 広報担当 細田・村上
TEL: 078-262-0905(直通) FAX: 078-262-0903 E-mail: press@artm.pref.hyogo.jp

2021年コレクション展 I 〈小企画〉

えがわ ばいじよてき
「**穎川コレクション・梅舒適コレクション受贈記念展**」画像申込書

e-mail : press@artm.pref.hyogo.jp / FAX : 078-262-0903 兵庫県立美術館 営業・広報担当宛

ご希望画像の作品番号にチェックを入れ、媒体情報をご記入の上、本紙を e-mail または FAX にてお送りください。申込確認に数日かかる場合がございます。あらかじめご了承ください。


なお、2021年コレクション展 I 〈特集〉「同級生・同窓生」の広報画像については、2020年12月18日付けプレスリリースに記載しています。別途ご確認ください。

1



長次郎《赤楽茶碗 銘 無一物》
桃山時代(16世紀)
重要文化財
兵庫県立美術館蔵(穎川コレクション)

2



森狙仙《雨中桜五匹猿図》
江戸時代(18~19世紀)
兵庫県立美術館蔵(穎川コレクション)

3



呉昌碩《紅梅図》
中華民国6年(1917)
兵庫県立美術館蔵(梅舒適コレクション)

●貴媒体の情報をご記入ください。

○媒体名(番組・雑誌名等):

○媒体種: 新聞・雑誌・ミニコミ・TV・ラジオ・WEB・その他()

○掲載・放送予定日: ○参考 URL

○原稿確認予定日:

※WEB掲載の場合、いずれかに○をつけてください。 コピーガード対応 可 ・ 不可

●申請者の情報をご記入ください。

○貴社名:

○所在地: 〒

○ご担当者名:

○メールアドレス:

○電話番号:

●読者・視聴者プレゼント用招待券: 組 名分を希望
(最大5組10名まで。本展を媒体でご紹介いただける場合に限りです。)

【画像使用に際しての注意事項】

○「作家名」「作品名」「制作年」「所蔵先」を明記してください。

▼参考

「作家名」長次郎

「作品名」「制作年」《赤楽茶碗 銘 無一物》桃山時代(16世紀)

重要文化財

「所蔵先」兵庫県立美術館蔵

○作品画像の加工(着色、トリミング、文字載せなど)はできません。

○基本情報、画像使用の確認のため、ゲラ・原稿の段階で「営業・広報担当」までお送りくださいますようお願いいたします。

○掲載媒体を1~2部、もしくはURL、同録(DVD、CD)を「営業・広報担当」宛にお送りください。

○画像使用は本展覧会の紹介用のみとさせていただきます(会期終了まで)。

○再放送、転載など二次使用をされる場合には、改めて申請願います。

兵庫県立美術館 取材申込書

取材をご希望の方は下記にご記入のうえ、
取材希望日の3営業日前までに
 メールまたはFAXにてお申込みください。

お申込日 年 月 日

メール送付先: press@artm.pref.hyogo.jp / FAX送付先: [078-262-0903](tel:078-262-0903)

取材内容

希望日時	第1希望	年	月	日	曜	時	分	～	時	分
	第2希望	年	月	日	曜	時	分	～	時	分
	第3希望	年	月	日	曜	時	分	～	時	分
希望場所										
企画内容										
カメラ撮影	<input type="checkbox"/> あり スチール 台 ムービー 台 三脚/脚立 台 <input type="checkbox"/> なし									
取材人数	人	取材時の代表者名								
媒体種別	<input type="checkbox"/> テレビ <input type="checkbox"/> ラジオ <input type="checkbox"/> 新聞 <input type="checkbox"/> Web <input type="checkbox"/> その他()									
媒体名										
掲載・放送 予定日時	<input type="checkbox"/> 掲載 年 月 日 曜 時 分 <input type="checkbox"/> 放送									

ご連絡先	担当者名	
	社名・部署名	
	住所	
	電話番号	
	FAX	
	E-mail	

- * 企画内容によってはご要望に沿えない場合もございますので、あらかじめご了承ください。
- * 作品の著作権保護や出展作品のクレジット確認等のため、展示風景や作品の画像使用にあたっては、紙面掲載、番組放送前に原稿を確認させていただいております。校正段階での原稿・映像等を事前に広報専用メールへご提出ください。
- * 掲載媒体を1～2部、もしくはURL、同録(DVD、CD)をお送りください。

〈取材についてのお問い合わせ〉

兵庫県立美術館 営業・広報担当(細田・村上)
 〒651-0073兵庫県神戸市中央区脇浜海岸通1-1-1
 TEL:078-262-0905 FAX:078-262-0903 Mail:press@artm.pref.hyogo.jp